

新規事業採択時評価結果（平成17年度新規事業化箇所）

担当課：
担当課長名：

事業名 ：主要地方道 亀岡園部線 道路新設改良事業	事業区分 ：主要地方道	事業主体 ：京都府
起終点 ：自：京都府 <small>かめおか</small> 亀岡市 <small>こせちょう</small> 古世町 至：京都府 <small>かめおか</small> 亀岡市 <small>ぼつちょう</small> 保津町		延長 ：0.43km

事業概要
 主要地方道亀岡園部線は亀岡市内の国道9号交差点を起点とし、園部町内に至る幹線道路であり、一級河川桂川左岸地域の骨格道路として、市町間の交流・連携に資するとともに、沿線地域の生活道路としてまた亀岡市の観光産業を支える道路として重要な役割を担っている。本事業は、保津橋から市道クニッテルフェルド通りの間において、JR山陰本線複線化事業と併せ、立体交差化を含む延長430mの2車線道路である。

事業の目的、必要性
 本事業は、保津橋から市道クニッテルフェルド通りの間において、JR山陰本線複線化事業と併せ、立体交差化し、幅員狭小、線形不良箇所を解消すると共に、歩道設置を行くことにより、交通の円滑化、交通安全の向上を図り、地域間の交流・連携の強化を支援するものである。

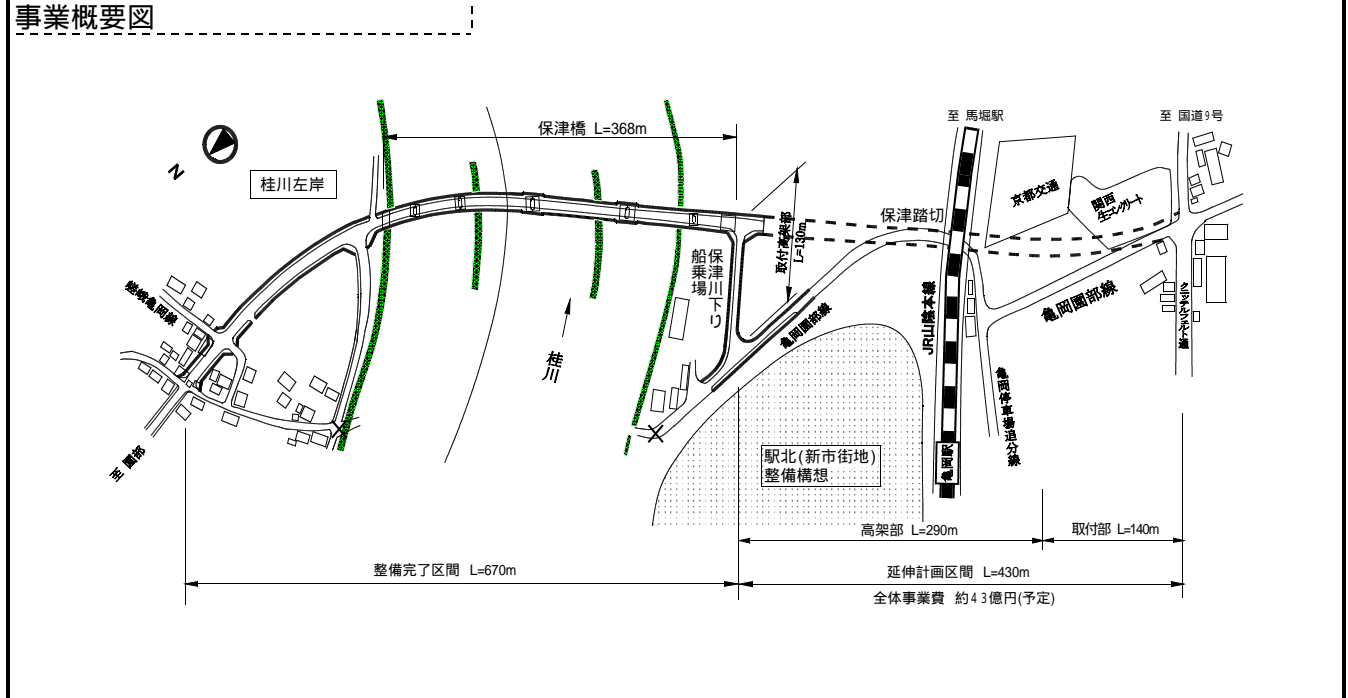
全体事業費 ：4.3億円	計画交通量 ：6,400台/日
費用対効果分析結果 ：B/C：1.5	総費用 ：3.2億円 （事業費：3.2億円 維持管理費：0億円）
	総便益 ：4.7億円 （走行時間短縮便益：4.2億円 走行費用減少便益：4億円 交通事故減少便益：1億円）
	基準年 ：平成16年

事業の効果等

- ・踏切部の渋滞解消及び安全性の確保（JR山陰本線保津踏切の立体交差化により踏切部の渋滞解消及び安全性を確保する。JR複線化に伴う列車本数の増加のため踏切遮断時間の増加が予測）
- ・交通の安全性の確保（線形不良及び幅員狭小部の解消を図り、交通の安全を確保）
- ・歩行者・自転車の安全性の確保（歩道の設置により歩行者・自転車の安全の確保する。通学路指定）
- ・第2次緊急輸送道路に指定（緊急時の輸送が確保できる）

関係する地方公共団体等の意見

- ・亀岡市、保津町自治会他関係自治会要望毎年あり
- ・亀岡市商工会議所、経済同友会、観光協会、自治連合会、青年会議所から要望（平成16年1月）



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。